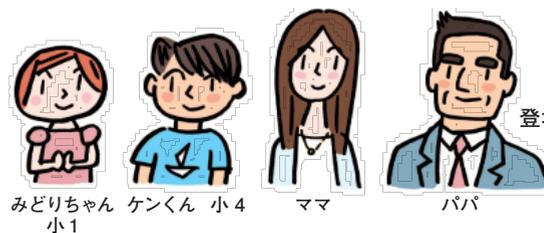


早わかり!! 図書館を使った調べる学習

さあ、はじめよう

「調べる学習」の4つのステップ

「調べる学習はたいへんだ!」と思っていませんか? テーマを見つけて、調べて、まとめていくのは、最初こそ、ちょっとたいへんですが、決してむずかしいものではありません。やってみれば、のめりこんで、案外たのしいもの! ここでは、地域の図書館へ行って調べずめる方法を紹介しします。



登場人物の紹介



その1

テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう!

1 身のまわりをよく見よう

生き物、草花、食べ物など、生活の場には調べるテーマがたくさん。家族や友だちとの会話や、新聞・テレビ、教科書の中にもテーマが隠れているかも。

2 「どうしてかな?」と疑問の形で考えてみよう

「雲の形はどうしてみんな違うのかな?」「ダンゴ虫はなぜ丸くなるの?」「なぜかな?」「どうしてだろう?」と考えてみよう。ふしぎな気持ちが大きくなっていきます。



3 比べてみよう

自分が住んでいる土地ではこうだけど、ほかの場所ではどうなっているかな? 今と昔など、比べてちがいに気づくと、調べたくなってきます。

4 仮説をたててみよう

答えを予想して仮説をたててみよう。テーマによっては、頭の中も整理されて、どこでどう調べればよいかがわかってきます。

5 とりあえず、テーマを決めよう

おおまかなテーマしか思い浮かばないときは、少しだけそれを調べてみよう。自分が本当に興味を感じるテーマがきっと見つかると思います。

その2

図書館で調べよう

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう

1 図書館に行ってみよう

図書館は知識の宝庫です。書棚をながめて、テーマに関係した本やパンフレット、新聞記事をさがそう。

2 司書さんに聞いてみよう

本が見つからない時は、司書さんに相談してみよう。関連した本の見つけ方、調べ方を教えてください。

3 百科事典は強い味方

まずは百科事典にあたってみよう。関連した事柄がわかって、そこから調べることが広がっていきます。

4 複数の資料にあたる

本を読み比べてみよう。書いてあることが違うかも知れません。

5 図書館での関連の講座に参加しよう

調べる学習のやり方は、学校の授業のほかに、図書館でも教えてくれることがあります。家の人や友だちと行ってみよう。



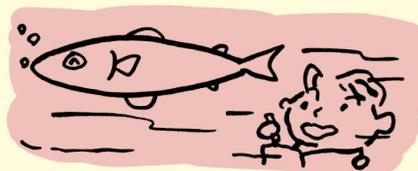
その3

もっと調べるメモをとろう

まちや自然のなかにもでかけよう! 図書館では調べきれない発見があるよ。考えたことをメモしておこう。

1 実験しよう、観察しよう

植物や昆虫、動物などを調べるときは、観察や実験も良い方法です。どんな方法で行い、何がわかったか、結果も含めて記録しておこう。



2 博物館・動物園・資料館に行こう

実物にふれたり、専門の資料などを見ると、もの見方や考え方が広がります。そのときの自分の気持ちもメモしておく、まとめるときに役立つ!

3 人の話も聞いてみよう

身近な人へのインタビューやアンケート調査も有効です。専門家などに手紙を出すと、疑問にこたえてもらえるかもしれません。もし、会えることになったら、あらかじめ質問をまとめておこう。

4 そして図書館へ

図書館の外で色々調べてわかったことを、もう一度図書館に戻ってたしかめてみよう。新たな発見があるかも。

その4

書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを教えてあげるつもりでまとめよう。

1 なぜ、そのことを調べたいと思ったのかな?

まず「どうしてこのテーマを選んだのか」、そのきっかけを書こう。「こういうことに疑問をもったからなんだ」と読んだ人に伝えるだけでなく、自分でも「このテーマを選んだ理由」をしっかり意識できます。

2 なにをどうやって調べた?

どのように調べていったのか、そのみちすじを読む人に伝えるようにまとめよう。

3 目次をつくる

説明しやすいように、メモをならべかえて目次をつくらう。全体のストーリーを考えるのにまよったら、だれかに読んでもらって、わかりやすい組み立てを目指そう。

4 どこでなにを調べたか、参考文献を書こう

調べるときに使った図書館や本を書こう。このときにもメモが役立つ!

5 調べてわかったことに対して、どう考えたか?

自分が思ったこと、考えたことを自分の言葉で書いてみよう。調べる前と、後で考え方が変わった点も書こう。

6 タイトルはとっても大事!

自分のテーマが伝わるようなオリジナルのタイトルをつけてみよう。

